

＜能力強化事業（講演）＞ 「行動を起こすきっかけをつくる講演」



ICAN 日本事務局
西坂 幸
～プロフィール～
大学卒業後、民間企業
での事業所運営や広
報業務を得て2018年9
月より現職。

アイキャンでは、年間を通して講演や講義、訪問受け入れを行っています。その多くは教育機関からのご依頼で、次世代を担う若者に世界の現状を伝え、行動を促すことのできる大切な場であると感じています。学生時代という様々な出会いや新しい発見があり、色々なことに興味関心がわく時期だからこそ、素直な気持ちでショックを受け、感じ、気づき、考えてもらいたいと思っています。

8月1日、聖霊中学高等学校において、中学1年生約200名を対象に、フィリピンの路上の子どもたちやNGOの活動内容についての講演を行いました。私が講演を通して伝えなかった事は、「世界にはこんなに貧しい生活を送っている人がいる」ということではありません。世界の現状やNGOの活動を知ったその先に、それぞれが「自分には何ができるか」を考え行動に移す重要性です。今回、講演後に生徒の皆さんから、「いくら集まれば何ができるのか」、「街頭募金のボランティアに参加するにはどうすればいいのか」等の質問を頂き、今後具体的に動き出そうとしていることが良く分かり、嬉しく感じました。

しかし、その気持ちを持続することは非常に難しくもあります。講演を聞いた直後は、ショックを受け、自分にできる事がないかを考え、何かしようという気持ちになっただけでも、時間が経ち、日々の忙しい生活の中で、「あのとき聞いた遠い国や地域の子どもたちのこと」は、頭から抜けていってしまうことも少なくありません。何かしなければと思っていた熱い気持ちは、時間とともに忘れられてしまいます。だからこそ、記憶に残る伝え方ができるように、私自身が成長しなければと、いつも意識して業務にあたっています。

私は、人に何かを教えられるような立派な人間ではありません。ですが、フィリピンの現状、自分が見た景色や子どもたちから直接聞いた声を伝える事はできます。それが誰かにとって、世界のため、自分たちの未来のために行動するきっかけとなれば、嬉しく思います。私自身、学生時代に世界の子どもたちの状況を講義で聞いたことをきっかけに、フィリピンのスタディツアーや地域のフェアトレードのイベントに参加したりして、行動を起こしてきました。これらの経験が、今のアイキャンでの活動に繋がっています。

ある日のスケジュール

- 11:00 メールチェック
- 12:00 日本事務局会議
- 14:00 来客・問合せ対応
- 15:00 講演資料作成
- 16:00 フェアトレード商品管理
- 17:30 フィリピン予算申請確認
- 18:30 語学教室対応
- 20:00 帰宅



フィリピン事業（マニラ・路上）

8月/フィリピン(マニラ)

子どもの家から自立訓練に参加



子どもの家で生活するジェイ（仮名）（17歳）が、自立訓練の一環として、通学をしながら週3回、レストランでの実地研修（OJT）を受け始めました。「料理を作ることが好きで、将来はレストランのシェフになりたいと思っている。初めての

仕事と慣れない英語を使つての接客は大変だけど、仕事は楽しく周りのスタッフにも恵まれているので、正規雇用されるように頑張りたい。」と意気込みを語りました。

能力強化事業（スタディツアー）

8月/フィリピン

子どもたちとの再会



アイキャンのフィリピンの事業地訪問や路上の子どもとの交流ができるスタディツアーを実施しました。参加した5名のうち、2名はリピーターの方々でした。5年前にも参加した男性は、再会した子どもたちの成長を喜んでいました。また、初

参加の女性は、「子どもたちとの交流や家庭訪問は、このツアーでないとできなかった。自分には何ができるのかを考え、帰国後、行動を起こしたい。」と話してくれました。

ジブチ事業

8月26日/マルカジ(ジブチ)

子どもの保護センター及び多目的センターの完成記念式典



8月26日、イエメン難民キャンプにおいて「子どもの保護センター」及び「多目的センター」の完成記念式典が行われました。この事業は外務省の資金協力及び皆さまのご寄付により実施されており、当日はキャンプに住む人々の他、日本大使館・ジブチ内務省・国際機関・各国のNGO等、多くの方々にご出席いただきました。式典では来賓によるスピーチや、子どもたちの歌が披露され、住民からは感謝の言葉を多く頂きました。

ボランティア・寄付活動推進事業（街頭募金）8月3・24・31日/大阪

幅広い層の大阪のボランティアさんが参加



8月は全部で3回の街頭募金を行い、夏休みを利用した中学生とその保護者の方、高校生や社会人など幅広い年齢層のボランティアさんが参加しました。参加者からは、「やってみると若者や外国人などたくさんの方が募金してくれた。暑さを忘れるほど夢中になれた。」との感想が聞かれました。3回目は雨のため、30分みの活動となりましたが、20名の通行人の方々よりご寄付いただきました。